

やまぎん

# アジアニュース

経済月報  
No. 489 掲載分  
平成 28 年 1 月

●釜山支店Tel010-82-51-462-3281 ●青島支店Tel010-86-532-85766222 ●大連支店Tel010-86-411-83705288  
●香港駐在員事務所Tel010-852-2521-7194



## 【青島支店】

### 「銀聯カードについて」

#### 1. 銀聯カードとは

近年、中国人観光客による空港や家電量販店等での「爆買い」が話題となっていますが、「爆買い」に使用されている多くが「銀聯カード」です。中国銀聯のブランドは、中国国内では他のカードを圧倒しており、クレジットカード（デビットカードを含む）が利用できるショップで銀聯カードが使えないショップはないといっても過言ではありません。銀聯カードの発行枚数はデビットカード（プリペイドカード含む）45 億枚、クレジットカード 5 億枚と、総発行枚数は 50 億枚にもものぼるとも言われ、世界最大のカードに成長しています。

他のクレジットカードと異なるのは、発行されている銀聯カードの大部分が、買い物をした際に即時に本人口座から支払金額が引き落とされるデビットカードとなっていることです。中国では与信システムが日本等の先進国と比べまだまだ不十分であることや、低所得者層も多いため、当たり前前に国民がクレジットカードを持つことは、難しいのが現状です。なお、銀聯カードは、銀行のキャッシュカードを兼ねたデビットカードのため、中国国内の銀行に預金口座を作れば、自動的に銀聯カードとなり、中国国民にとって持っているのが当たり前になりつつあります。

#### 2. 銀聯カードのニーズが高い理由

銀聯カードが普及している一番の理由はその利便性の高さです。

まず、中国国内に設置された ATM は、ほとんどが銀聯ネットワークに加盟しており、銀聯カードを持っていれば、中国国内の ATM でお金を引き出すこともできます。

また、現在、人民元の最大の高額紙幣は 100 元札です。現在のレート（1 元＝約 19 円）で換算すると約 1,900 円程度ですので、現金でショッピングを思う存分楽しもうとすれば、お財布はかなり分厚くなり、携帯するには非常に不便で防犯上もあまりよくありません。しかし、銀聯カードの普及によってショッピングはとて便利なものとなりました。

中国国内での現金引出し、ショッピングの他にも、銀聯カードのニーズが高い理由として、海外旅行先での資金決済に使えるという点があげられます。中国の経済力が上がるに

つれて、海外旅行を楽しむ中国人は年々増えていますが、一番の楽しみ・目的はやはりショッピングです。現在の中国は現金を海外に持ち出すには一定の制限があるため、カードは海外でのショッピングに必要不可欠なのです。

また、中国国内外での加盟店の多さが銀聯カードのメリットの1つとも言えます。すでに中国国内 300 万以上ものショップが、銀聯カードの加盟店になっています。海外でも銀聯カードの加盟店が増えており、中国も含めた全世界で 1,000 万以上に達すると言われ、アジアだけでなく欧米各国でも利用しやすくなっています。

加盟店が増えている背景として、銀聯カードはデビットカードが主流となっていることがあげられます。クレジットカードのように決済に時間がかからず手数料負担も必要なく、現金のように即時入金となるため、加盟店にとっても非常に導入しやすい状況にあります。

(銀聯カードが普及している要因)

- ・ 中国国内外での現金引出し (キャッシュカードと一体)  
※中国国外への人民元の持出し制限は 5,000 米ドル
- ・ 中国国外での ATM 現金引出し (上限額: 1 日につき 10,000 元 (要手数料))
- ・ 中国国内外での加盟店の多さ
- ・ デビットカードが大部分であり、クレジットカードと異なり、店側、購入者とも手数料が不要 (ショッピング時)
- ・ 銀聯カード加盟店での利用限度額は、口座残高の上限まで利用が可能
- ・ 免税価格でのショッピングが可能 (非居住者)

### 3. 日本での銀聯カード利用

2002 年 3 月、中国の中央銀行である中国人民銀行が中心となり政府主導で設立された銀行間決済ネットワーク会社である中国銀聯は、2005 年 12 月三井住友カード株式会社と提携を結び、日本での業務を開始しています。

日本を訪れる中国在住者は年々増加傾向にあります。2005 年から中国全土でビザ発給が可能になったため海外旅行を楽しめるようになったことや、中国の経済力が上がるに連れて富裕層は勿論、一般庶民の生活水準が向上しているのが理由です。また、メイドインジャパンの品質、日本食の安全性や日本の風光明媚な観光名所も中国人には非常に人気が高く、地理的条件、近時の円安元高も追い風となり、2005 年は 65 万人、2014 年は 240 万人、2015 年は 10 月末時点で 428 万人もの中国在住者が、日本を観光先に選んでいます。こうした中国からの観光客を狙って、銀聯カードに加盟する日本のショップも増加の一途を辿っています。空港やホテルをはじめ、家電量販店やデパートなど、日本のあらゆる場所で銀聯カードを利用できるようになってきています。

家電量販店は、特に中国からの観光客に人気のショッピングスポットとなっています。そのため、家電量販店では銀聯カード向けのキャンペーンを行うケースもあり、銀聯カードでショッピングすれば、購入金額の 5%割引をするというケースもあるようです。近時の円安や免税価格でショッピングできる上に、さらに割引というのは中国人にとって大変

---

魅力的となっています。2014年には、日本における銀聯カードの加盟店は37万を超えているとも言われています。

また、日本の金融機関でお金を下ろしたいと思った時、銀聯カードがあればスムーズに引き出しができます。利用できる金融機関は、ゆうちょ銀行、セブン銀行の他に、大手メガバンクや一部地方銀行等でも取扱いが開始されています。今後、取扱金融機関も拡大すれば、都市部だけでなく、地方都市へ旅行した時でも、引き出しができるということになり、銀聯カード愛用者には更に便利なものとなるでしょう。

昨年後半、中国金融監督当局は、マネーロンダリング防止の対応を強化するため、中国国外での銀聯カードによる現金引出しの上限を、今年1月より1枚当たり1年間で10万元（約190万円）とする規制を新たに設けました。ただし、カード決済については本規制の対象外となりますので、一般の企業活動や個人旅行者への影響は限定的なものとも推測されています。

近年は、景気減速、人件費高騰、環境問題等により中国以外の東南アジアやアフリカ諸国への注目度が高まりつつあります。しかしながら、依然として年7%前後の経済成長を維持し、世界第2位の経済規模を誇るまでに至った中国経済に後押しされ、中国国民一人一人の生活水準は驚く程のスピードで豊かになってきています。今後も益々、中国人が愛用する銀聯カードを利用して、豊かさの実現に向けた自己投資を加速させるものと思われる。

また、中国では夫婦共働き、週末も子供の習い事等々、日々時間に追われているため、一般的に日用品から電化製品に至るまでネットショッピングが重宝されています。最近では、私たち日本人が中国のネットショップで買い物を楽しんだり、日本のネットショップで中国人が買い物をするボーダレス化が進むなど、カードは生活になくてはならないものとなっており、多方面でビジネスチャンスは広がりを見せつつあります。

今後、日本人が中国で有名なネット通販大手の淘宝网（タオバオワン）や京東商城（ケイトウショウジョウ）等で買い物をしたり、中国国内のように日本国内で銀聯カードの加盟店が飛躍的に増加すれば、近い将来、私たち日本人の財布にも銀聯カードが1枚入っている時代が来るかもしれません。

換算レート：1元＝19.03円

以上